

カリキュラムマップ

卒業認定・学位授与の方針(DP)	1. 温かい心と豊かな感性を備え、人への深い関心をもち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる。	2. 介護を必要とする人の自立支援と、地域におけるその人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している。	3. 根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができる。	4. 常に問題意識をもち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できている。	5. 多職種や地域住民との連携・協働の必要性を理解できている。
学習成果	1) 豊かな感性と表現力を備え、相手にもわかりやすく伝えることができる。 2) 相手の立場になって考え、円滑な人間関係の形成につながるコミュニケーション能力を身につける。	3) その人らしい生活や自立支援を多面的に検討するため、幅広い教養に加え、介護福祉に関する専門的知識を身につける。 4) その人らしい生活や自立支援につなげるため、介護福祉に関する専門的技術を身につける。	5) 根拠に基づいたサービスを検討するため、介護過程に関する知識を身につける。 6) 利用者本位のサービスにつなげるため、介護過程を実際に展開することができる。	7) 自らの問題意識に基づき課題を設定する中で探求心を養うことができる。 8) 課題の解決に向けて、適切な方法で取り組み、その結果を考察する過程を通して、課題解決力の基礎となる研究的態度を身につける。	9) 授業や介護実習を通して多職種連携・協働を理解し、チームワークを発揮できる能力を身につける。 10) 地域の人々との交流を通して地域の文化・歴史を把握し、地域に貢献する意義を理解することができる。
↑					
卒業	後期	□介護総合演習Ⅳ			
		◎人間の尊厳と自立 □人間関係とコミュニケーションⅡ △人間の発達と心理的支援	△キャリアデザインⅢ □生活支援技術Ⅵ ◎障害の理解Ⅱ ○医療的ケアⅢ ○医療的ケアⅣ	□介護過程Ⅲ □介護過程Ⅳ	◎社会保障と人間の生活
	前期	□介護総合実習			
		□介護総合演習Ⅲ			
△キャリアデザインⅠ ○生活支援技術Ⅴ	△キャリアデザインⅡ ◇介護の基本Ⅲ □コミュニケーション技術Ⅱ □福祉住環境と生活支援 ○障害の理解Ⅰ ○医療的ケアⅠ	□介護過程Ⅱ □認知症の理解Ⅱ	◎社会保障論Ⅱ ○医療的ケアⅡ		
↑					
入学	後期	□個別援助実習			
		□地域介護実習		□介護総合演習Ⅱ	
		△初年度教育Ⅱ △キャリアデザイン入門	◇介護の基本Ⅱ □生活支援技術Ⅲ □生活支援技術Ⅳ ◇家政の生活支援Ⅱ ○発達と老化の理解Ⅱ ○認知症の理解Ⅰ ○こころとからだのしくみⅡ-1 ○こころとからだのしくみⅡ-2	□介護過程Ⅰ	◎介護福祉論Ⅱ ◎社会保障論Ⅰ
	前期	◇介護基礎実習		□介護過程総論	
		◇介護導入実習			
		□介護総合演習Ⅰ			
△初年度教育Ⅰ □人間関係とコミュニケーションⅠ ◇介護福祉論Ⅰ □介護の基本Ⅰ	◇コミュニケーション技術Ⅰ ◇生活支援技術の基本 □生活支援技術Ⅰ □生活支援技術Ⅱ ◇家政の生活支援Ⅰ ○発達と老化の理解Ⅰ ○こころとからだのしくみⅠ-1 ○こころとからだのしくみⅠ-2	◎現代社会と福祉	◇介護基礎実習 ◇介護導入実習 □介護総合演習Ⅰ ◇地域生活と文化		
↑					
○ひとの命と健康を考える □ひとの可能性を考える ◇ひとの生活を考える ◎ひとの権利を考える △学修の基礎力を培う					
入学者受入れの方針(AP)	(1)介護福祉や社会福祉に関心をもち学ぶ意欲をもっている。(2)人の立場になって考えることができる。 (3)人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる。(4)人とともに協力して活動に取り組むことができる。 (5)入学後の学修に必要な基礎学力がある。				

図3 カリキュラムマップ